

【人材の養成に関する目的】

■文学部

文化現象の総合的理解及びその継承を基本理念とし、その実現のために、少人数教育を基本とする教養教育及び専門教育との適切な調和を考慮したきめ細かなカリキュラムによって、問題発見能力及び多面的な分析能力の伸長を図ること、並びに言葉を通して形づくられた人間、歴史及び社会の多様なあり方を考究し、共感を持って他者を理解する能力及び自己を他者に正確に伝達する能力を涵養することによって、社会的な活動を自律的に展開するための基礎を構築することを目的とする。

■現代社会学科

ア 社会学及びコミュニケーション研究の理論及び実証的研究法を通じて社会を理解するための基本的枠組みを修得させるとともに、少人数による演習を通じて、自らの課題を設定し、過去から現在に至る資料を調査し、議論によって自らの意見を鍛え、他者に対して説得的に表現する能力を育むこと。

イ アに規定する教育を通じて、現代社会の抱える諸問題をその背景にまで遡って多角的に検討できる思考力並びに状況に的確に対応できる判断力及び行動力を兼ね備えた人材を養成すること。

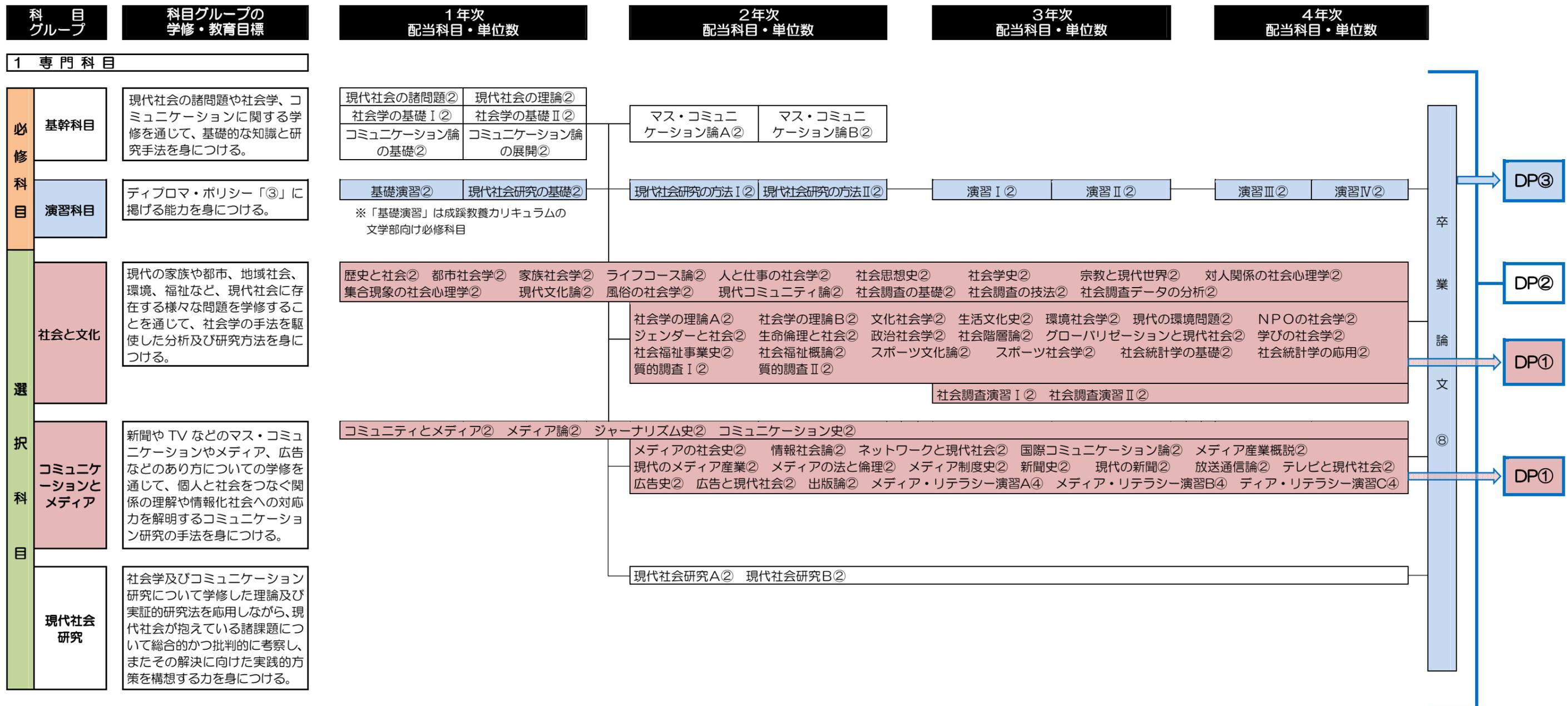
【ディプロマ・ポリシー（DP）】

文学部では、1年次から指導教授制をとり、4年次における卒業論文（全員必修）の作成まで文学部全体としてきめ細かな履修指導を行っている。また、学部として成績評価のガイドラインを設け、各授業科目については、定期試験、レポート、授業態度、出席状況等を総合的かつ厳正に判断しながら成績評価を行っている。このようなきめ細かな履修指導と厳正な成績評価に基づき、文学部が目指す質の高い学生を社会に送り出すよう努めている。

このもとで、多様な価値観が並存し、対立し合っている現代社会を生きる上で必要となる、柔軟な知性と批判精神、すなわち次に掲げるような総合的な「資質と力量」を身につけ、国際教養人として課題を発見し解決する能力を修得した学生に、学士（文学）の学位を授与する。

- ① 社会学及びコミュニケーション研究の理論及び実証的研究法を通じて、社会を理解するための基本的枠組みを身につけている。
- ② ①の学修を通じて、現代社会の抱える諸問題を、その背景にまで遡って多角的に検討できる思考力並びに状況に的確に対応できる判断力及び行動力を兼ね備えている。
- ③ 各年次に配当された必修の「演習」及び卒業論文の作成を通じて、批判的・論理的思考力、課題探求・問題解決力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力などを身につけている。
- ④ 選抜制の「国際社会コース」の修了生は、必修のセミナーにおいて、「日本を考える」、「現代の世界」、「文化と人間」、「地球を考える」の4つのテーマの学修を通じて、国際化する社会についての知識と洞察力を身につけるとともに、英語によるコミュニケーション能力及び情報発信能力を身につけている。

※ 教養科目については、「成蹊教養カリキュラム：学修・教育目標（科目グループ別カリキュラム・フロー）」を参照



科目グループ	科目グループの学修・教育目標	1年次 配当科目・単位数	2年次 配当科目・単位数	3年次 配当科目・単位数	4年次 配当科目・単位数
2 自由設計科目（選択科目）					
文学部 共通科目	トピック・セミナー	トピック・セミナーA② トピック・セミナーB② トピック・セミナーC② トピック・セミナーD② トピック・セミナーE② トピック・セミナーF②			
	e-Learning English	Grammar Practice I① Grammar Practice II①			
	古典語の世界	ラテン語I② ラテン語II② 古典ギリシア語I② 古典ギリシア語II②			
	国際社会コース	※ 国際社会コースを修了するために必要な講義科目については、履修要項参照。	国際英語セミナーI② 国際英語セミナーII②	国際英語セミナーIII② 国際英語セミナーIV②	
	国際社会研究		国際社会セミナーI② 国際社会セミナーII②	国際社会セミナーIII② 国際社会セミナーIV②	
	文学部総合講義	国際社会研究②			
文学部総合講義	文学部総合講義A② 文学部総合講義B② 文学部総合講義C② 文学部総合講義D②				
単位認定科目	資格課程認定単位	教育原論I② 教育原論II② 教育心理学② 教育史② 生涯教育研究②			
	留学関係認定単位	海外研修C② 海外研修D② 海外研修E② 海外研修F② 海外研修G② 海外研修H②			
	全学共通科目超過単位				
学際科目	他学科・他学部・他大学	（他学科の専門科目、他学部の専門科目及び単位互換制度による他大学開講科目で修得した単位）			

